

八尾ロボットフェア 2016

第8回八尾ロボットコンテスト

2016.2.27 アリオ八尾

チーム名 & ロボット名	参加者 名簿	
神戸大学 CMOA	チーム代表者 大島 逸平	
	チーム監督者 大島 逸平	
	参加者: 大庭美彩、坂本実紀、森仁志	
写真添付欄 	ロボット製作費	¥44,000
	ロボットの大きさ	495x350x495H
	ロボットの重量	10 Kg (予定)
	特 徴	ロボットは、オムニホイールを装着しているため、あらゆる方向に移動可能です。中央にタイミングベルトを用いた昇降装置をつけており、非常にパワフルな昇降をします。オブジェをつかむハンドは平行リンクを活用して作っています。また、ハンド自体も回転する機能があります。
製作時のエピソード (苦労話・話題など)		
<p>今まで、八尾ロボットフェアには別チームとして出場していたものの、部分部分の製作であり、ロボット全体の開発したことがなかったため、ロボット全体の整合性をもたせるところが非常に大変でした。今回のロボコンでは昇降装置を作る必要があったため、その部分の構造をどうするか？また、昇降させるためロボットハンドを軽くする必要があることから、アイデア出しにも非常に苦労しました。これでいける！と思ったアイデアも実際に図面にしてみると無理があったりと非常に苦労しました。</p> <p>時間をかけて考えたことで確実な動作をするように準備をしました。本番でも確実に一つ一つ積み上げていけるようにしたいです。製作・調整に苦戦したため、練習に時間をほとんど割けませんが何とか頑張りたいと思います。実際のところ・・・、忙しさにかまけて、設計を始めたのは1月を過ぎたころで非常に突貫工事となってしまう、一部想定と違う点なども出てきてしまいました。やはり、ロボット開発においては時間に余裕をもって、作り直しができるくらいの時間的余裕をもつべきだと思います。</p>		